



# 二輪草だより

## 合同入局説明会終了報告

副センター長 間宮敬子

平成26年7月1日、合同入局説明会が開催されました。参加人数は92名で、うち学生・研修医は56名でした。今年度は「どうする臨床研修先～若手医師が学びやすく、働きやすい環境とは～先輩の、リアルな臨床研修を聴く！」をテーマとし3人の卒業生に臨床研修の体験談を語って頂きました。はじめに、吉田晃敏学長からご挨拶をいただいた後、「3つの病院での卒後臨床研修」と題して循環・呼吸・神経病態分野脳神経内科の鹿野耕平先生に講演していただきました。鹿野先生には、旭川医科大学病院、旭川医療センター、東京医療センターでの研修の内容と大学での研修のメリット、大学以外の病院での研修のメリットをお話しいただきました。「初期研修の2年間は最後の自由な2年間」という大切なメッセージもいただきました。



2人目は「礼文島×僕=∞～初期臨床研修に求めたもの～」と題して、遠軽厚生病院外科後期研修医の升田晃生先生に講演していただきました。升田先生には、旭川医科大学、札幌東徳洲会病院での研修や、たすきがけ(大学病院/市中病院)の研修のすすめをお話しいただきました。升田先生は礼文島で育った方で、母方のおじいさんは礼文島の初代医師であり、お父様は現在礼文島町立船舶診療所の所長さんで医師として28年礼文島で働いていらっしゃるそうです。先生自身も将来、「島で完結できる医療の実践」を目標に、礼文島で医師として働くことを夢みて研修を行っているということでした。休憩をはさんで、旭川医科大学同窓会副会長の原淵保明教授にご挨拶をいただきました。原淵教授は、母校で研修をうけることの意味を強く協調されていました。最後に「私の初期研修 旭川・北見・帯広」と題して富良野教会病院外科の鈴木和香子先生に講演していただきました。鈴木先生は、旭川医科大学、北見小林病院、帯広徳洲会病院で研修されました。先生は学生時代循環器が苦手だった様ですが、医師となってスタッフの一員だという責任を伴うと意識がちがってくるため、結果的に循環器科が一番楽しかった。自分が苦手意識の強い科ほど研修で回ってみたら良いとおっしゃっていました。また、大学病院、一般病院、地方病院それぞれに良いところがあるので、たくさん経験すべきである、2年間で最大限楽しむべきだとお話しされていました。

今年度も各診療科によるポスター展示が行われました。いろいろな研修先や研修内容が紹介されており、学生さん達の参考になったと思います。学生投票によるベストポスター賞の選出では耳鼻咽喉科が受賞されました。最後に二輪草センターのセンター長、卒後研修センター副センター長の山本明美先生からご挨拶がありました。



学生のアンケートでは、「気軽に参加できる雰囲気だった。」「卒後研修のリアルな話が聞いて良かった。」「将来を決めるための情報が多く有意義な時間が過ごせた」など沢山のおほめの意見をいただきました。



最後になりましたが、共催いただいた卒後臨床研修センターおよび旭川医大医学部医学科同窓会にこの場を借りてお礼を申し上げます。またお忙しい中アンケートにお答え頂きました学生さんにも深謝致します。ありがとうございました。



## センターの活動予定

- ◆8月18日(月) ワークライフバランスの授業
- ◆8月21日(木)～22日(金) 訪問看護ステーション看護師のための生涯学習支援研修
- ◆8月下旬 二輪草プラン推進委員会議 二輪草だより8月号発行

## 「看護学生と看護師のふれあいランチタイム」を開催して

総務担当副看護部長 河地範子

この「看護学生と看護師のふれあいランチタイム」は、平成23年度からスタートし今年で4回目となります。看護学生が卒業後の自己のキャリアを考える上で、職場の様子や働き続けられるための制度利用などについて、実践現場の看護師と様々な情報交換ができる時間で、今年度は、6月25日(木)の11時45分～13時15分の90分間で開催しました。看護学生は昨年より7名多い37名、当院の看護師は21名が参加し、90分の中で学生も看護師も自由に出入りし、用意した食事や飲み物を取りながら、時折歓声も聞かれ和やかな雰囲気の中で交流が行われました。交流後のアンケート結果では、「病棟の雰囲気や勤務体制、実際の業務を知ることができた」、「仕事と私生活の両立」、「就職後のキャリアアップ、進学」等について聞くことができたと回答しており、学生が卒業後の自己のイメージを具体的に描く良い機会になりました。今後も学生のニーズに合わせて企画内容を充実させていきたいと思えます。



## ☆病児・病後児保育室で、救急時のシミュレーションを行いました



☆救急部の皆さま  
ご協力ありがとうございました。



## 病児一時預かり室、バックアップナース、病児・病後児保育室、カウンセリング相談 【6月20日～7月19日までの利用状況】

病児一時預かり室	依頼回数	1回	利用回数	1回
バックアップナース	依頼回数	16回	稼働回数	16回
病児・病後児保育室	依頼回数	27回	利用回数	13回
カウンセリング相談			利用回数	2回

\* 病児一時預り室、病児・病後児保育室は全職員・学生がご利用になれます



### 【お問い合わせ先】

旭川医科大学 二輪草センター(復職・子育て・介護支援センター)  
〒078-8510 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1-1

TEL 0166-69-3240(内線3240) サンニョレ FAX 0166-69-3249

E-mail: [nirinsou@asahikawa-med.ac.jp](mailto:nirinsou@asahikawa-med.ac.jp) 開設時間8時30分～17時15分



二輪草だより掲載記事は、ホームページからより詳しい内容をご覧ください。

<http://www.asahikawa-med.ac.jp/hospital/nirinsou/>